

タケは大変面白い生物であり、有用な材料であるが、「タケは草なのか木なのか」とか「タケはなぜ生長が早いのか」といった小学生向けの質問でさえも、自信を持って答えられる人はそう多くはないと思う。

① ということ、今回はタケをテーマに取りあげたわけであるが、右のようなQ & Aでは面白くないので、ここではちょっと違う視点からタケのウンチク話をいくつか紹介したい。

①種類 一般にタケ類といえは、タケとササのことであるが、その他にも「バンブー」と呼ばれる種類があることを存じてであろうか。実はタケ類の中でも、熱帯・亜熱帯性で、棒が株立ち状に密集するものが「バンブー」と呼ばれて、前者者と区別されることがある。「それって何? 英語で

タケのことをバンブーって言うんじゃないの」と考える方がほとんどであろう。

②生長方法 樹木とタケの違いは色々あって、ここにはとても書ききれないが、案外忘れられているのが、タケノコが生長してタケになると、それ以上は伸びも太りもしないということである。木と違ってタケ

タケについて

③形成層がないから、棒が生長しなくなるのは当然であるが、それでは、タケの葉で光合成されたブドウ糖は棒の生長以外の何に使われるのであろうか。

④利用の難しさ 生長量の大きさと早さを考えれば、タケが有用なバイオマス資源であることは明らか

⑤形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑥利用の難しさ 生長量の大きさと早さを考えれば、タケが有用なバイオマス資源であることは明らか

⑦形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑧形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑨形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑩形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑪形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ



森林総合研究所(つくば市)のタケ・ササ見本園

⑫形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑬形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑭形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑮形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑯形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑰形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑱形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑲形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

⑳形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

㉑形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

㉒形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

㉓形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

㉔形の不整さである。木材では製材や機械加工によって簡単に形を整えることが出来るが、タケではこれが難しい。棒の径は一定ではないし、完全な円ではない。円筒の肉厚も節間長さも揃っていない。もちろん工芸的な利用では、手作業によって様々な物理的加工程を行うわけであるが、例えばタケヒコ作り一つとっ

①次回は9月4日付(株)森林総合研究所研究コ―テイネータへ木質資源利用研究担当